

いただけますようお願いいたします。

- 新型コロナウイルス感染症の詳細な情報については下記リンク等をご覧ください。
新型コロナウイルス感染症について（厚生労働省）
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html
新型コロナウイルスに関連する肺炎について（名古屋市）
<http://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/page/0000124556.html>

◆本市の状況

〔インフルエンザ〕

- 本市における2020年第7週（2月10日～2月16日）のインフルエンザの定点当たり患者報告数は7.14人で、前週（8.11）より減少しました。
- 中川区および南区では定点当たり患者報告数が、国立感染症研究所が定める警報レベル終息基準値を下回っていないため警報レベルで継続しており、西区および守山区では注意報レベルとなっています。また、愛知県では12月19日にインフルエンザ警報が発令されています。
- 2019/20シーズンはインフルエンザウイルスのうちA/H1N1pdm09亜型が全国的に最も多く検出されています。また、インフルエンザB型の患者報告数が増加しています。
- インフルエンザは例年1月から2月にかけて流行のピークを迎えます。小児や高齢者、免疫力の低下している方では重症化する場合がありますので注意が必要です。
- 主な感染経路は、感染した人の咳やくしゃみによる飛沫感染と病原体に汚染された物等を介した接触感染です。予防には人ごみを避け、帰宅時には手洗いを行い、また、感染を広げないためにも「咳エチケット」を守りましょう。

〔定点把握感染症の発生動向〕

- 咽頭結膜熱の定点当たり患者報告数は、前週の0.3人から0.4人に増加しました。過去3年の同一週の平均との比較では3.1倍多い報告数になりました。
- 突発性発しんの定点当たり患者報告数は、前週の0.1人から0.2人に増加しました。

〔1類～5類全数把握感染症の届出〕

診断週	感染症の分類	疾患	発生数	発生の概要
2020年 第7週	2類	結核	15	<ul style="list-style-type: none"> ・男性、87歳、下咽頭結核、頸部リンパ節結核 ・女性、27歳、結核性胸膜炎 ・女性、77歳、結核性胸膜炎 ・女性、89歳、結核性胸膜炎 ・女性、36歳、肺結核 ・男性、52歳、肺結核 ・女性、53歳、肺結核 ・男性、90歳、肺結核 ・男性、67歳、肺結核 ・男性、74歳、肺結核 ・女性、42歳、無症状病原体保有者 ・男性、42歳、無症状病原体保有者 ・女性、47歳、無症状病原体保有者 ・男性、4歳、無症状病原体保有者 ・女性、2歳、無症状病原体保有者
2020年 第7週	指定	新型コロナウイルス感染症	2	<ul style="list-style-type: none"> ・男性、60歳代、市内在住 主な症状：発熱、呼吸器症状 ・女性、60歳代、市内在住 主な症状：発熱、頭痛
2020年 第7週	5類	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2	<ul style="list-style-type: none"> ・男性、75歳、菌検出検体：尿、菌種：<i>K. aerogenes</i>、感染原因：その他 ・女性、62歳、菌検出検体：血液、菌種：<i>K. pneumoniae</i>、感染原因：不明
2020年 第7週	5類	侵襲性肺炎球菌感染症	1	<ul style="list-style-type: none"> ・男性、85歳、菌検出検体：髄液
2020年 第7週	5類	梅毒	2	<ul style="list-style-type: none"> ・女性、55歳、早期顕症梅毒（1期） ・男性、74歳、無症状病原体保有者
2020年 第7週	5類	百日咳	2	<ul style="list-style-type: none"> ・男性、2歳、検査方法：抗体の検出、感染地域：清須市 ・男性、1歳、検査方法：抗体の検出、感染地域：あま市

※ 感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを表示。

(報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります)

報告日が遅れたため先週号までに掲載されなかった 1 類から 5 類全数報告感染症。

診断週	感染症の分類	疾患	発生数	発生の概要
2020 年 第 6 週	2 類	結核	2	<ul style="list-style-type: none"> ・男性、94 歳、肺結核 ・男性、64 歳、無症状病原体保有者
2020 年 第 6 週	5 類	アメーバ赤痢	1	<ul style="list-style-type: none"> ・女性、60 歳、腸管アメーバ症、感染原因：不明、感染地域：不明
2020 年 第 6 週	5 類	後天性免疫不全症候群	2	<ul style="list-style-type: none"> ・男性、25 歳、無症状病原体保有者、感染経路：性的接触（同性間）、感染地域：フィリピン ・女性、36 歳、無症状病原体保有者、感染経路：性的接触（異性間）、感染地域：国内
2020 年 第 6 週	5 類	梅毒	1	<ul style="list-style-type: none"> ・男性、44 歳、早期顕症梅毒（1 期）
2020 年 第 5 週	5 類	梅毒	1	<ul style="list-style-type: none"> ・男性、55 歳、早期顕症梅毒（1 期）
2020 年 第 3 週	2 類	結核	1	<ul style="list-style-type: none"> ・女性、65 歳、肺結核

※ 感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを表示。

〔2020 年 1 類～5 類全数把握感染症の届出報告数の累計〕

感染症の分類	疾患	累計
1 類感染症	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、他	0
2 類感染症	急性灰白髄炎	0
2 類感染症	結核（潜在性結核感染症を含む）	67 (18) [0] [0] [0]
2 類感染症	ジフテリア	0
2 類感染症	重症急性呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 SARS コロナウイルスであるものに限る）	0
2 類感染症	中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 MERS コロナウイルスであるものに限る）	0
2 類感染症	鳥インフルエンザ（H5N1）	0

NIDWR Nagoya Infectious Diseases Weekly Report

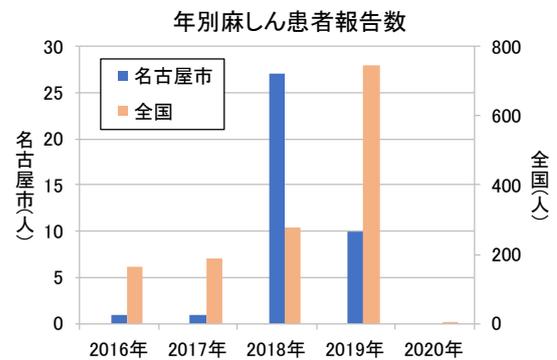
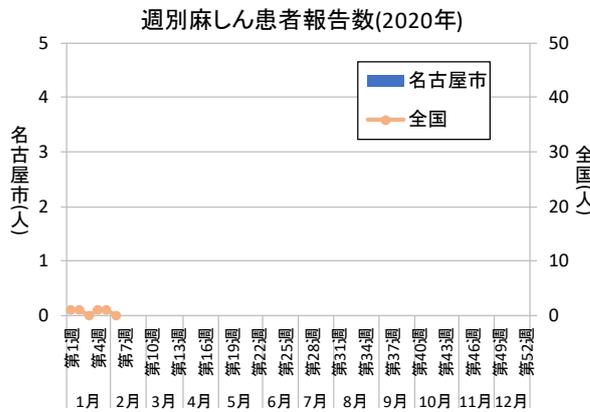
2 類感染症	鳥インフルエンザ (H7N9)	0
指定感染症	新型コロナウイルス感染症 (病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス (令和2年1月に、中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。) であるものに限る。)	2
3 類感染症	コレラ	0
3 類感染症	細菌性赤痢	0
3 類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	2
3 類感染症	腸チフス	0
3 類感染症	パラチフス	0
4 類感染症	デング熱	3
4 類感染症	レジオネラ症	2
5 類感染症	アメーバ赤痢	2
5 類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	4
5 類感染症	急性脳炎 (ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く)	3
5 類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2
5 類感染症	後天性免疫不全症候群	7 (7)
5 類感染症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	6
5 類感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	1
5 類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	12
5 類感染症	水痘 (入院例に限る)	2
5 類感染症	梅毒	18 (2)
5 類感染症	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1
5 類感染症	百日咳	25
5 類感染症	風しん	7

累計は 2020 年第 1 週からの診断週による累計、() 内は無症状病原体保有者累計数を再掲、[] 内は疑似症累計数を再掲、【 】内は感染症死亡者の死体累計数を再掲、〔 〕内は感染症死亡疑いの死体累計数を再掲、〈 〉内は後天性免疫不全症候群の「その他」累計数を再掲。

対象疾患が多いため、4 類及び 5 類感染症は報告のあった疾患のみを掲載。

(報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります)

〔名古屋市の麻しん報告数：2020年2月19日作成〕



週別麻しん患者報告数(2020年)

名古屋市	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週	第6週	第7週	第7週(2月16日)までの合計(人)
	/	/	/	/	/	/	/	0

表は患者報告のあった週のみ掲載し、報告が0人の週については省略

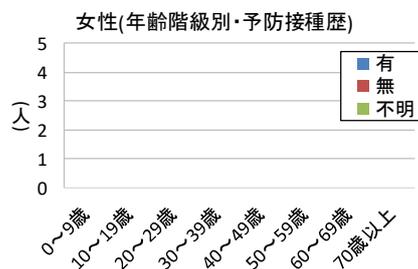
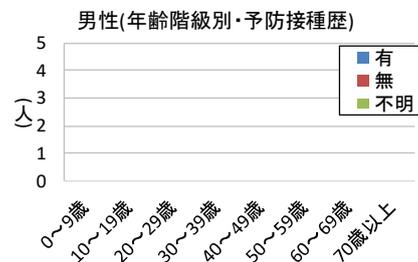
年別麻しん患者報告数

麻しん	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
名古屋市	75	11	6	19	5	1	20	0	1	1	27	10	0※1
愛知県	197	29	32	32	39	25	46	0	5	1	37	41	2※2
全国	11013	732	447	439	283	229	462	35	165	186	279	744※3	4※2

※1 第7週(2月16日)まで ※2 第6週(2月9日)まで ※3 報告数は速報値

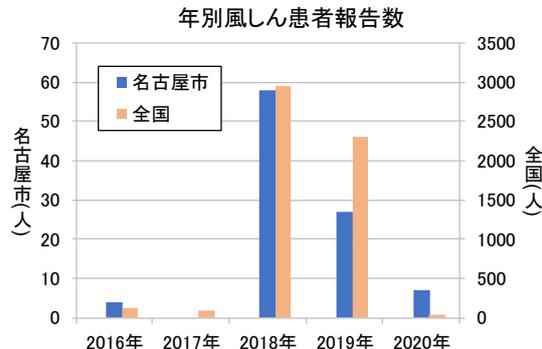
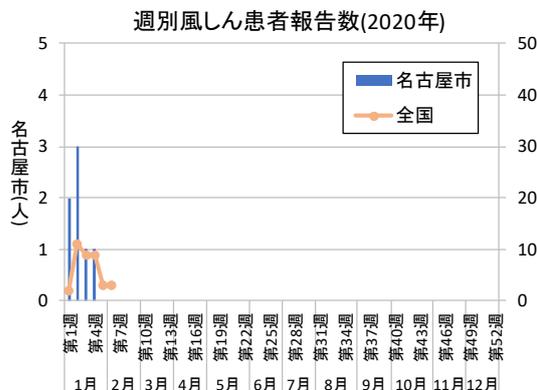
麻しん患者の性別・年齢階級別・予防接種歴(2020年名古屋市)

		予防接種歴			
		有	無	不明	総計(人)
男性	0~9歳				0
	10~19歳				0
	20~29歳				0
	30~39歳				0
	40~49歳				0
	50~59歳				0
	60~69歳				0
	70歳以上				0
計(人)				0	
女性	0~9歳				0
	10~19歳				0
	20~29歳				0
	30~39歳				0
	40~49歳				0
	50~59歳				0
	60~69歳				0
	70歳以上				0
計(人)		0	0	0	
総計(人)		0	0	0	



(報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります)

〔名古屋市の風しん報告数：2020年2月19日作成〕



週別風しん患者報告数(2020年)

名古屋市	第1週 (12/30～ 1/5)	第2週 (1/6～ 1/12)	第3週 (1/13～ 1/19)	第4週 (1/20～ 1/26)	第5週	第6週	第7週(2月16日)まで の合計(人)
	2	3	1	1			7

表は患者報告のあった週のみ掲載し、報告が0人の週については省略

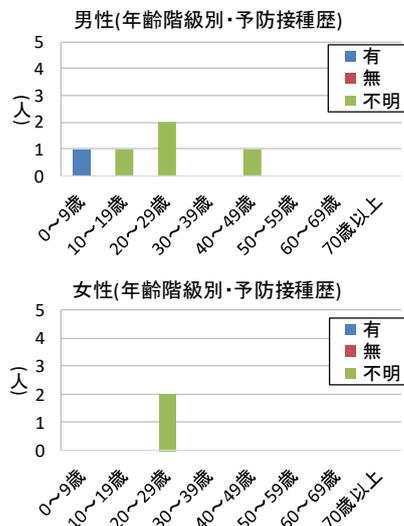
年別風しん患者報告数

風しん	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
名古屋市	1	1	0	7	38	191	7	2	4	0	58	27	7※1
愛知県	3	10	3	13	97	375	22	13	20	3	118	59	7※2
全国	303	147	87	378	2386	14344	319	163	126	91	2946	2306※3	37※2

※1 第7週(2月16日)まで ※2 第6週(2月9日)まで ※3 報告数は速報値

風しん患者の性別・年齢階級別・予防接種歴(2020年名古屋市)

	年齢階級	予防接種歴			総計(人)
		有	無	不明	
男性	0～9歳	1			1
	10～19歳			1	1
	20～29歳			2	2
	30～39歳				0
	40～49歳			1	1
	50～59歳				0
	60～69歳				0
	70歳以上				0
	計(人)	1	0	4	5
女性	0～9歳				0
	10～19歳				0
	20～29歳			2	2
	30～39歳				0
	40～49歳				0
	50～59歳				0
	60～69歳				0
	70歳以上				0
	計(人)	0	0	2	2
	総計(人)	1	0	6	7



風しん患者情報(2020年名古屋市)

No	診断年月日	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	2020.1.4	20歳代	男	不明	国内(愛知県 名古屋市)
2	2020.1.5	20歳代	男	不明	国内(愛知県 名古屋市)
3	2020.1.8	20歳代	女	不明	国内(愛知県 名古屋市)
4	2020.1.9	5歳	男	有	国内(愛知県)
5	2020.1.11	10歳代	男	不明	国内(愛知県 名古屋市)
6	2020.1.14	20歳代	女	不明	国内(愛知県 名古屋市)
7	2020.1.23	40歳代	男	不明	国内(愛知県 名古屋市)

(報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります)

〔愛知県麻疹・風しん患者調査事業について〕

平成 20 年 1 月 1 日から、麻疹・風しんは全数把握対象疾患となりましたが、愛知県内では、感染症法に基づく届出では把握できない情報を得るため、医師会と協力して「愛知県麻疹・風しん患者調査事業」を実施しており、名古屋市も参加しています。調査結果については下記のリンク先（愛知県衛生研究所ホームページの中のコンテンツ <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/msl/msl.html>）をご覧ください。

〔定点医療機関からの情報〕

定点医療機関からは検査結果や患者発生状況等がコメント情報として報告されています。定点医療機関から報告されたコメント情報は下記のとおりです。なお、コメント情報のなかった定点医療機関については掲載しておりません。

インフルエンザ：A型 4 名	定点医療機関（千種区）
インフルエンザ：A型 5 名 B型 21 名	定点医療機関（千種区）
インフルエンザ：A型 6 名 B型 7 名	定点医療機関（千種区）
インフルエンザB 1 名	定点医療機関（東区）
インフルエンザB型 2 名 インフルエンザA型 1 名	定点医療機関（東区）
A 1 名 B 1 名	定点医療機関（東区）
ヒトメタニューモウイルス（+）2 Y 6 M F	定点医療機関（東区）
インフルエンザA型：1 名	定点医療機関（北区）
インフルエンザ：A型 10 名、B型 14 名	定点医療機関（西区）
インフルエンザA型 6 名、インフルエンザB型 8 名、臨床診断 1 名	定点医療機関（中村区）

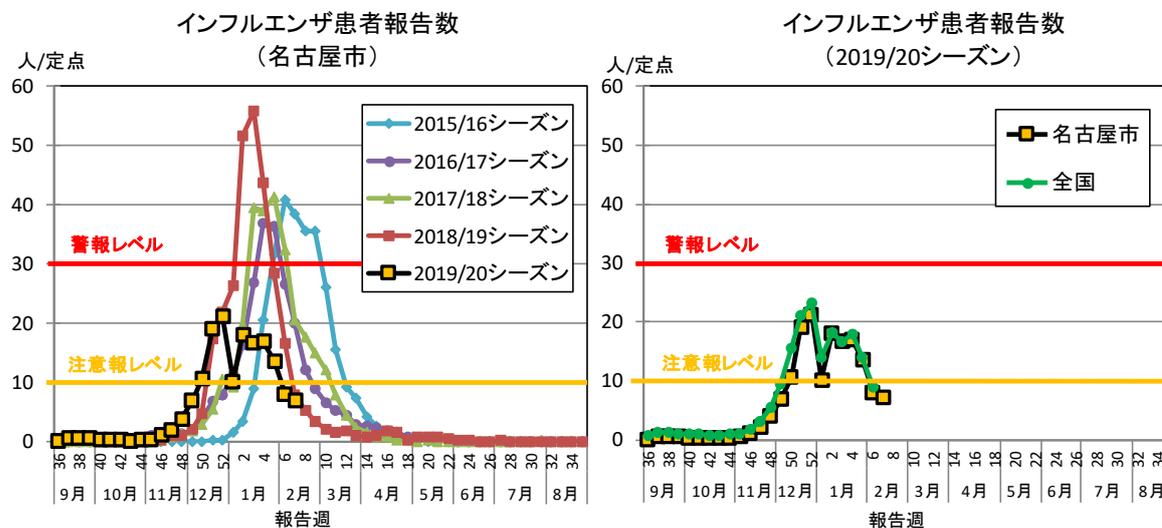
NIDWR Nagoya Infectious Diseases Weekly Report

インフルエンザB型7名	定点医療機関（中村区）
インフルエンザA型6名、B型1人	定点医療機関（中村区）
インフルエンザB型：4名	定点医療機関（中区）
インフルエンザA型：1名	定点医療機関（中区）
インフルエンザA型：1名、インフルエンザB型：1名	定点医療機関（昭和区）
インフルエンザA型：1名、インフルエンザB型：2名	定点医療機関（昭和区）
インフルエンザA型：3名、インフルエンザB型：5名	定点医療機関（昭和区）
インフルエンザA型：1名、インフルエンザB型：4名	定点医療機関（昭和区）
インフルエンザA型：1名、B型：1名	定点医療機関（熱田区）
インフルエンザA型：5名、B型：1名	定点医療機関（熱田区）
インフルエンザA型2名	定点医療機関（港区）
インフルエンザA型男性20名女性17名	定点医療機関（南区）
インフルエンザA型8名B型2名	定点医療機関（南区）
インフルエンザA型2名	定点医療機関（南区）
A型 4名、 B型 12名	定点医療機関（守山区）
A型 1名、 B型 6名、 臨床診断 1名	定点医療機関（守山区）

NIDWR Nagoya Infectious Diseases Weekly Report

B型 1名	定点医療機関（緑区）
インフルエンザA型 2名、B型 6名	定点医療機関（緑区）
インフルエンザB型 3名でした	定点医療機関（名東区）
インフルエンザA型 2名、インフルエンザB型 3名でした。	定点医療機関（名東区）
インフルエンザA型 2名 インフルエンザB型 9名	定点医療機関（天白区）
溶連菌感染症とインフルエンザ合併症 1人（成人）・インフルエンザ 9人うちB型 7人	定点医療機関（天白区）

〔名古屋市のインフルエンザ報告数：2020年2月19日作成〕



※名古屋市は2020年7週、全国は2020年6週までの報告数

定点当たり患者報告数(2019/20シーズン:8週分)

	第52週 (12/23~ 12/29)	第1週 (12/30~ 1/5)	第2週 (1/6~ 1/12)	第3週 (1/13~ 1/19)	第4週 (1/20~ 1/26)	第5週 (1/27~ 2/2)	第6週 (2/3~ 2/9)	第7週 (2/10~ 2/16)
名古屋市	21.33	10.23	18.17	16.77	16.91	13.60	8.11	7.14
名古屋市 (2018/19)	22.00	26.23	51.66	55.77	43.69	28.47	16.67	7.91
愛知県	29.94	23.08	26.12	24.06	25.14	19.76	11.33	—
全国	23.24	13.93	18.33	16.73	18.00	14.11	9.04	—

※「1」を超えると流行入り、「10」を超えると注意報、「30」を超えると警報の基準
 ※報告数は各週公表時における速報値

各区の患者報告数(第7週)

	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	合計
市内70定点からの 患者報告数(人)	48	30	37	68	34	5	18	10	13	57	14	58	50	12	15	31	500
定点当たり 患者報告数(人)	9.6	7.5	7.4	17.0	6.8	1.3	3.6	2.0	3.3	14.3	3.5	14.5	10.0	3.0	3.8	7.8	7.14

インフルエンザ



2020年7週

注意報警報レベルについて

患者報告状況 (定点当たり患者報告数)	色
平常レベル	
注意報レベル	黄色
警報レベル	赤色

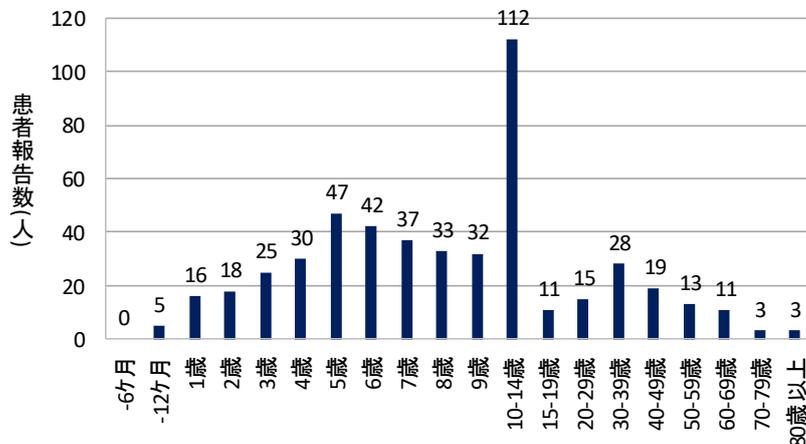
注意報・警報レベルの基準値(定点当たり患者報告数)

注意報レベル	警報レベル	
	基準値	終息基準値
10	30	10

注意報レベル: 定点当たりの患者報告数が10以上30未満の場合
 警報レベル: 定点当たりの患者報告数が30以上となり、その後、10未満となるまで

年齢階級別患者報告数

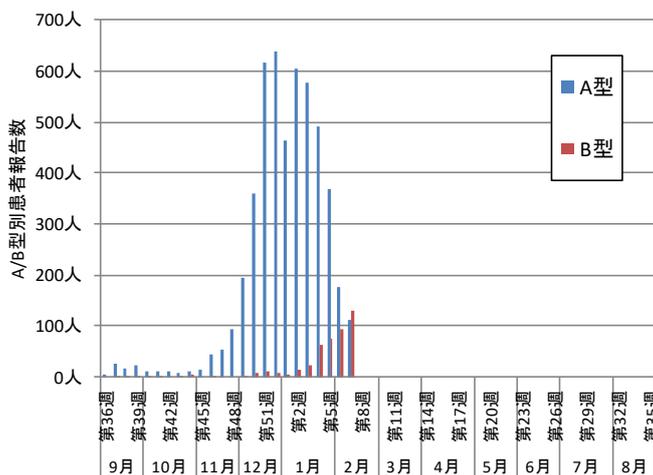
定点からのインフルエンザの 年齢階級別患者報告数(第7週)



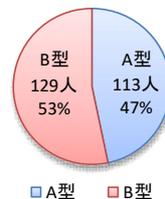
インフルエンザA/B型別流行状況

インフルエンザウイルス迅速診断キットによるインフルエンザA/B型別の検査結果が定点医療機関から報告されています。本市におけるインフルエンザA/B型別の患者情報を集計したところ、2020年第7週は、インフルエンザA型113人、インフルエンザB型129人で、B型の患者報告数が増加しています。2019/20シーズンの累計では、インフルエンザA型4918人(92%)、B型446人(8%)となっています。2019/20シーズンはインフルエンザウイルスのうちA/H1N1pdm09亜型が全国的に最も多く検出されています。また、A/H3N2亜型、B型ビクトリア系統も検出されています。

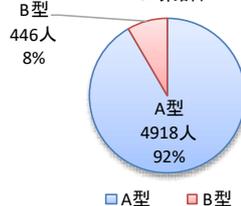
インフルエンザA/B型別患者報告数(2019/20シーズン) (定点医療機関からの情報による)



インフルエンザA/B型別患者 報告数の割合(第7週)



インフルエンザA/B型別患者 報告数の割合(2019/20シーズン 累計)



(報告数はその訂正などにより、変更される場合があります)

◆2020年第7週 患者報告数(疾病区別)、定点あたり患者報告数(疾病区別)、年齢階層別患者報告数(疾病別)

患者報告数(名古屋市)

2020年第7週(2020年2月10日~2月16日)

疾患 \ 区	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	計	前週比	過去比*
★インフルエンザ	48	30	37	68	34	5	18	10	13	57	14	58	50	12	15	31	500	0.9	0.4
○RSウイルス感染症				4	1					2		1	1				9	1.3	0.5
○咽頭結膜熱		1	4	9	3					3	5	3					28	1.2	3.1
○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7	11	13	7	1	3	2		4	5	8	2	9	7	6	4	89	0.9	1.5
○感染性胃腸炎	15	3	21	26	30	10	7			15	18	10	25	9	16	25	230	0.8	1.3
○水痘	2		3	2					2						1		10	0.7	1.7
○手足口病				1						1			4		1		7		4.2
○伝染性紅斑			4	2									1	2	1	1	11	0.5	1.7
○突発性発疹	2			2								2	3		2	1	12	1.7	1.2
○ヘルパンギーナ																	0		0.0
○流行性耳下腺炎																	0	0.0	0.0
△急性出血性結膜炎																	0		0.0
△流行性角結膜炎																	0	0.0	0.0
△細菌性髄膜炎																	0		
◇無菌性髄膜炎																	0		
◇マイコプラズマ肺炎							2										2	2.0	1.5
◇クラミジア肺炎																	0		
◇感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)																	0		0.0
計	74	45	82	121	69	18	29	10	19	83	45	76	93	30	42	62	898		

*過去3年の同週の平均値との比

★インフルエンザ定点数	5	4	5	4	5	4	5	5	4	4	4	4	5	4	4	4	70		
○小児科定点数	5	4	5	4	5	4	5	5	4	4	4	4	5	4	4	4	70		
△眼科定点数	1		1	1	1		1	1	1			1		1	1	1	11		
◇基幹定点数			1				1			1							3		

★○△◇は定点種別を示す。

セルは、該当疾病の定点医療機関のない区を示す。

定点あたり患者報告数、および流行警報・注意報発生状況(名古屋市)

2020年第7週(2020年2月10日~2月16日)

疾患 \ 区	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	平均
インフルエンザ	9.6	7.5	7.4	17.0	6.8	1.3	3.6	2.0	3.3	14.3	3.5	14.5	10.0	3.0	3.8	7.8	7.1
RSウイルス感染症				1.0	0.2					0.5		0.3	0.2				0.1
咽頭結膜熱		0.3	0.8	2.3	0.6					0.8	1.3	0.8					0.4
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.4	2.8	2.6	1.8	0.2	0.8	0.4		1.0	1.3	2.0	0.5	1.8	1.8	1.5	1.0	1.3
感染性胃腸炎	3.0	0.8	4.2	6.5	6.0	2.5	1.4			3.8	4.5	2.5	5.0	2.3	4.0	6.3	3.3
水痘	0.4		0.6	0.5					0.5							0.3	0.1
手足口病				0.3							0.3					0.3	0.1
伝染性紅斑			0.8	0.5									0.2	0.5	0.3	0.3	0.2
突発性発疹	0.4			0.5									0.5	0.6	0.5	0.3	0.2
ヘルパンギーナ																	
流行性耳下腺炎																	
急性出血性結膜炎																	
流行性角結膜炎																	

警報対象疾患	流行発生警報		流行発生注意報
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

流行警報・注意報について

■ **太字の数字** は流行発生警報

■ **斜体の数字** は流行発生注意報

■ 警報及び注意報の発生は、厚生労働省の感染症発生動向調査における警報発生システムの基準値(左表)に準拠しています。なお基準値は、変更される場合や当センターの判断で、独自の設定に変更する場合があります。

■ この警報及び注意報は、感染症発生動向調査に関わる専門家の対策立案を支援するためのものです。詳しい目的、利用法等については当情報センターにご連絡ください。

NIDWR Nagoya Infectious Diseases Weekly Report

年齢階層別患者報告数(名古屋市)

2020年第7週(2020年2月10日~2月16日)

疾患 \ 年齢階層	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上	
インフルエンザ		5	16	18	25	30	47	42	37	33	32	112	11	15	28	49	19	13	11	3	3

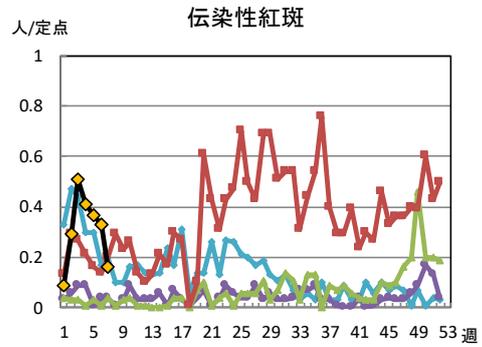
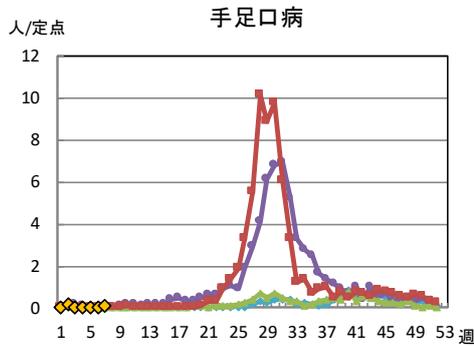
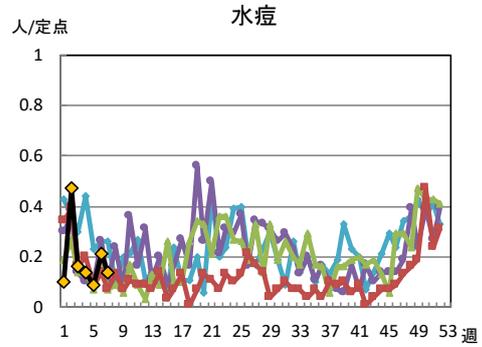
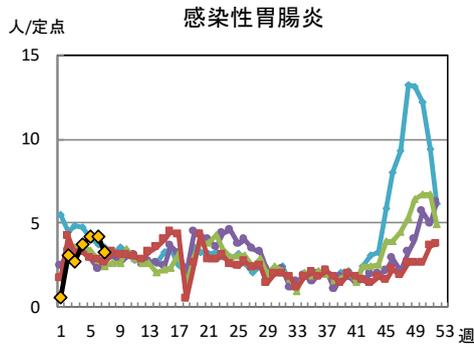
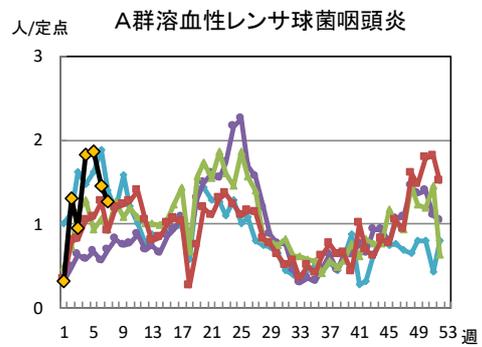
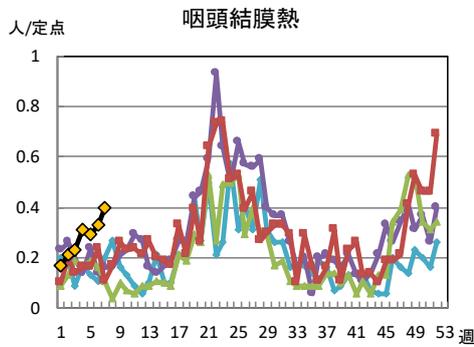
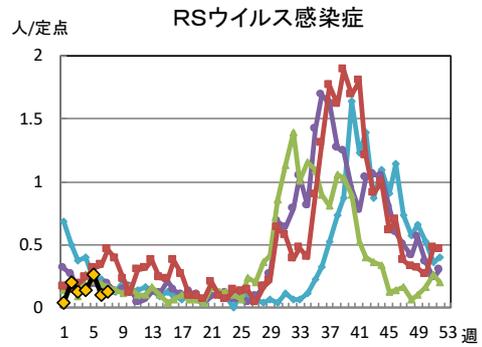
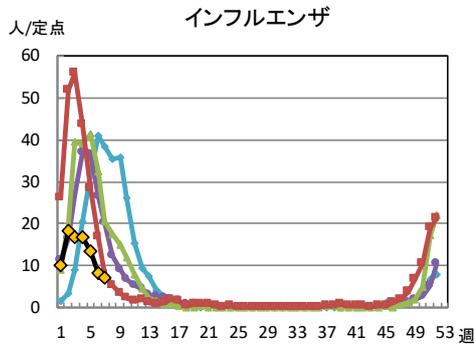
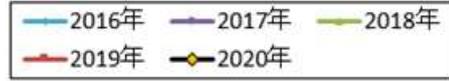
疾患 / 年齢階層	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20歳以上
RSウイルス感染症	1	1	3	1	2		1							
咽頭結膜熱			7	4	2	3	3	3		1	1	2	1	1
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1	2	6	10	11	10	12	7	4	3	9	1	13
感染性胃腸炎	2	9	35	20	17	21	13	17	4	4	7	13	10	58
水痘			2			1	1	2	1			3		
手足口病			3				1	1	1	1				
伝染性紅斑			2	1		2	2	2	1			1		
突発性発しん		6	6											
ヘルパンギーナ														
流行性耳下腺炎														

疾患 / 年齢階層	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	
急性出血性結膜炎																				
流行性角結膜炎																				

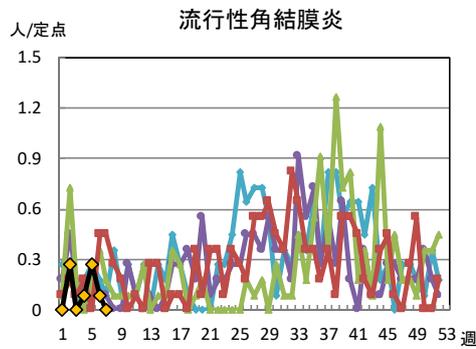
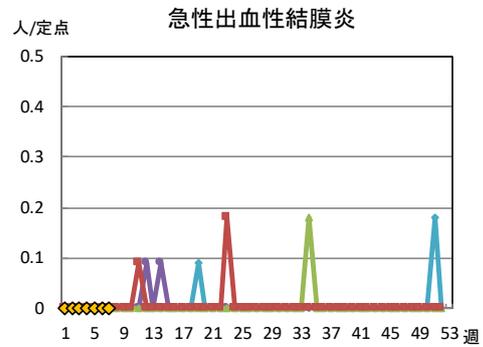
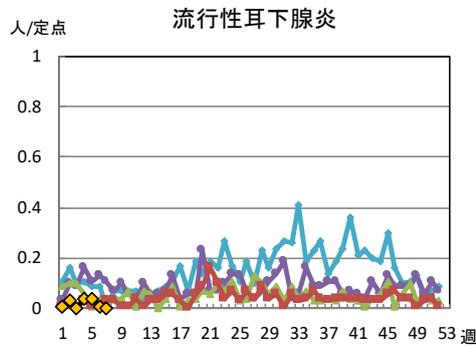
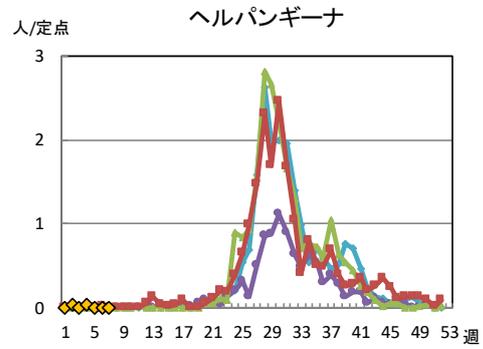
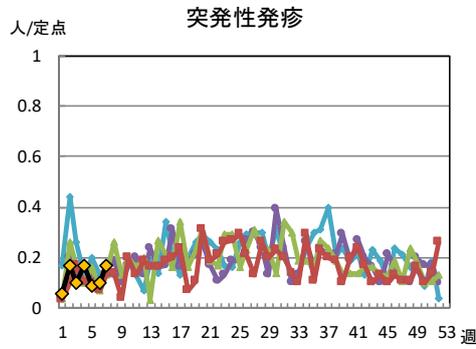
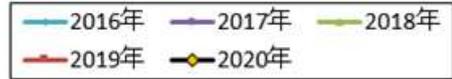
疾患 / 年齢階層	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
細菌性髄膜炎																
無菌性髄膜炎																
マイコプラズマ肺炎			2													
クラミジア肺炎																
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)																

NIDWR Nagoya Infectious Diseases Weekly Report

◆小児科・インフルエンザ・眼科定点医療機関からの
 定点あたり患者報告数の推移グラフ(1) 2020年第7週まで



◆小児科・インフルエンザ・眼科定点医療機関からの
 定点あたり患者報告数の推移グラフ(2) 2020年第7週まで



◆ 基幹病院定点月報の集計結果〔2020年1月分〕

基幹定点数：3（西部医療センター(北)、名古屋第二赤十字病院(昭和)、名古屋掖済会病院(中川)）

表1.基幹定点報告、区別患者報告数(名古屋市)

2020年1月

疾患 / 区	北	昭和	中川	計
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	2	1		3
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		1		1
薬剤耐性緑膿菌感染症				0
計	2	2	0	4

表2.基幹定点報告、年齢階級別報告数(名古屋市)

2020年1月

疾患 / 年齢階級	0-9	10-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-89	90歳-	計
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		1					1		1		3
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	1										1
薬剤耐性緑膿菌感染症											0
計	1	1	0	0	0	0	1	0	1	0	4

◆ 性感染症について〔性感染症定点把握、2020年1月分〕

性感染症定点数：15（泌尿器科系：8、産婦人科系：7）

報告された患者数を性別で見ると、男性では性器クラミジア感染症、淋菌感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマの順に多く、女性では性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、淋菌感染症の順に多く報告がありました。なお、女性では尖圭コンジローマの報告はありませんでした。今月の性感染症の報告数は男性118人、女性は34人でした。（表2、図1参照）

2020年1月分を年齢階級別に見ると、男性の性器クラミジア感染症は15歳以上の全ての年齢階級で報告があり、性器ヘルペスウイルス感染症は20歳以上の全ての年齢階級で報告がありました。尖圭コンジローマは15歳から24歳、30歳から34歳、40歳から49歳および55歳以上の年齢階級で報告があり、淋菌感染症は15歳以上の全ての年齢階級で報告がありました。女性では性器クラミジア感染症は0歳から39歳の年齢階級で報告があり、性器ヘルペスウイルス感染症は20歳から34歳および40歳から44歳の年齢階級で報告がありました。尖圭コンジローマの報告はなく、淋菌感染症は15歳から19歳の年齢階級で報告がありました（表2、図2参照）。

表1.性感染症区別患者報告数(名古屋市)

2020年1月

疾患 / 区	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	計
性器クラミジア感染症	3		21	1	6	22	5	2		13	4			1		3	81
性器ヘルペスウイルス感染症			4		1	9	3	2			2				4		26
尖圭コンジローマ			1				2			2					2		7
淋菌感染症	1		5		2	12	4			10		1		1		2	38
計	4		31	1	9	43	14	4		25	6	1		8		6	152

STD定点数	1		2	1	1	2	1	1		1	1	1		1	1	1	15
--------	---	--	---	---	---	---	---	---	--	---	---	---	--	---	---	---	----

のセルは、該当疾病の定点医療機関のない区を示す。

表2.性感染症年齢階級別患者報告数(名古屋市)

2020年1月

疾患 / 年齢階級	性別	0-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55歳-	計
性器クラミジア感染症	男性		4	11	16	7	6	6	3	3	2	58
	女性	1	5	8	5	2	2					23
性器ヘルペスウイルス感染症	男性			2	2	2	1	2	3	1	4	17
	女性			5	2	1		1				9
尖圭コンジローマ	男性		1	1		2		1	1		1	7
	女性											
淋菌感染症	男性		4	5	9	5	3	3	3	3	1	36
	女性		2									2
計	男性		9	19	27	16	10	12	10	7	8	118
	女性	1	7	13	7	3	2	1				34

図1. STD各感染症が総報告数に占める割合(2020年1月)

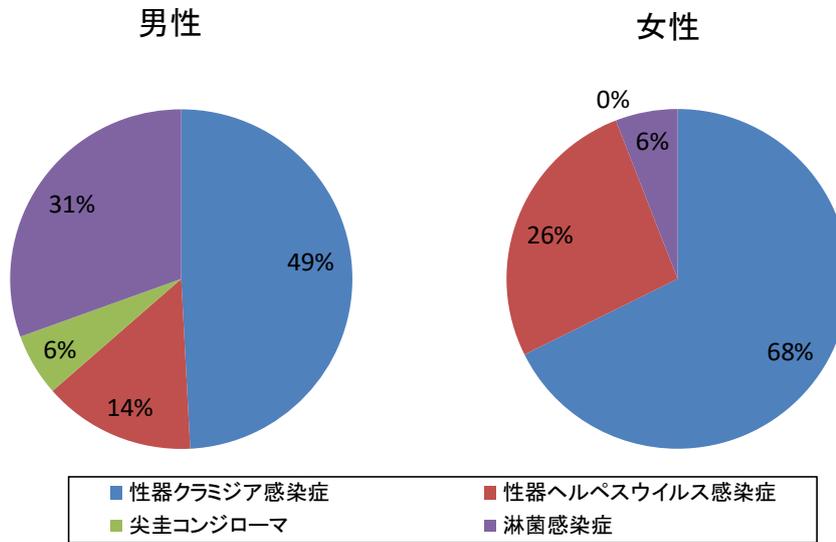


図2. 各STDの性別・年齢階級別の定点あたり報告数(2020年1月)

